

第76回国民体育大会山形県予選会兼  
第48回東北総合体育大会山形県予選会  
スポーツクライミング競技 実施要領

## 1 種目共通事項

- 1) ゼッケンは、規定のものを各チームで準備し、選手は競技開始通告前に取り付けること。
- ①取り付け位置は、上半身の衣服の背面中央部とし、競技中に脱落しないように縫い付けること。安全ピンの使用は認めない。
- ②サイズは、「縦15cm横20cm」の白布に、黒油性インク等で、少年は学校名・氏名を、成年は所属名・氏名を明瞭に表示する。  
オープン選手は学校名/所属の後ろに「O」の文字を入れてください。

[表示例]

酒田工業 (O) 山 川 登	A P 米 沢 天 地 仁
-------------------	------------------

- ③ゼッケンを付けていない選手は競技に参加できない。
- 2) 「棄権届」は、受付で配布する。
- 3) 事前配布の「2週間の健康チェック表」は、受付時に提出すること。
- 4) 順位の設定はIFSC競技規則に準じ、必要に応じてローカルルールを適用する。
- 5) 表彰は、種別・種目毎に3位まで賞状を授与する。(正規選手のみ)
- 6) 国民体育大会及び東北総合体育大会代表選手選考は競技種目の成績により、種別毎の審査を受けた選手の中から国体委員会で選抜編成する。
- 7) スタート順序は、監督会議において決定する。少年は監督が、成年は選手が、監督会議に参加すること。

## 2 リード競技

(日本山岳・スポーツクライミング協会リード競技規則を準用する。)

### 1) 競技方法

- ① 集 合 競技に参加する選手は、競技開始通告までに、指定された場所に集合する。
- ② 点 呼 審判員は、主任審判員が競技開始通告をした後、点呼を実施して必要事項の説明及び注意事項を伝達する。
- ③ 準 備 選手は、指示、確認及び伝達事項に基づいて競技の準備を行う。
- ④ オブザベーション オブザベーションは5分間とする。その際のメモ用紙は主催者側で準備する。(筆記具は各自で準備する。)
- ⑤ スタート 監督会議で決めた順で、種別毎に同一のルートで競技を行う。
- ⑥ 競技終了 選手は、競技エリアの外に出る。
- ⑦ 終了通告 主任審判員は、種別毎に全選手の競技が終了した後、アナウンスにより競技終了通告を行う。

### 2) 審査の内容及び項目

- ① 審査は、到達高度について行う。到達高度は、保持した最高遠点のホールドの位置をもって判定する。
- ・ 保持したホールドの高度には末尾番号を付けない。

- ・ 保持し、さらにルート上を前進するための動作を起こしたホールドの高度にはプラス(+)の末尾符号をつける。

② 登り方は、成年・少年ともにオンサイト・リード方式とする。

③ ハーネスへの接続は8の字結びとする。

④ 今会場限定のルールとして、スタートは指定された手足ホールドから始める。また完登とは最終カラビナにロープがクリップされ、最終ホールドを両手で保持し体勢がコントロールされた状態のことをいう。

⑤ 指定時間は5分とする。(選手が競技エリアに入った時点から計時する。)

### 3) 成績と順位

個人ごとの到達高度により、個人順位を決定する。

### 4) その他

リード競技の準備は、5月9日(日)から始めるので、練習等でのボード使用は5月8日(土)までとする。9日から15日の間は選手・監督のクライミングボード付近への立ち入りは禁止する。

## 3 ボルダリング競技

(日本山岳・スポーツクライミング協会ボルダリング競技規則を準用する。)

### 1) 競技方法

① 集 合：競技に参加する選手は、競技開始通告までに、指定された場所に集合する。

② 点 呼：審判員は、主任審判員が競技開始通告をした後、点呼を実施して必要事項の説明及び注意事項を伝達する。

③ 準 備：選手は、指示・確認及び伝達事項に基づいて競技の準備を行う。

④ オブザベーション：オブザベーションは全ルート8分間(4ルート)とする。

筆記具、メモ用紙は各自で準備する。

⑤ 競技の進行：監督会議で決めた順で、種別毎に競技を行う。

⑥ アテンプトと時間：アテンプトの指定時間は、6分間とする。

最初の競技時間(6分)に第一課題・第二課題のボルダラーのアテンプトを行う。

次に、6分の休憩をとる。

次の競技時間(6分)に第三課題・第四課題のボルダラーのアテンプトを行う。

⑦ 競技終了：2番目のアテンプトを終了した選手は、競技エリアの外に出る。

⑧ 解 散：主任審判員は、種別毎に全選手の競技が終了し、全選手が揃ったことを確認した後、競技終了通告を行い解散する。

⑨ 異 議：成績に対する異議申立ては、公式の成績一覧が公開されてから5分以内です。ただし抗議審判団の裁定に対する抗議はできません。

### 2) 審査及び順位の決定

① 審査は、日本山岳・スポーツクライミング協会ボルダリング競技規則を準用する。

② 順位は、日本山岳・スポーツクライミング協会ボルダリング競技規則を準用する。

### 3) その他

① 選手は、アテンプト時間内に地面から届く範囲でクリーニングを行うことができる。

② 競技の準備は、5月9日(日)から始めるので、練習等でのボード使用は5月8日(土)までとする。以降大会まで、選手・監督のクライミングボード付近への立ち入りは禁止する。

③ オープン選手も国体予選と同じベルコン方式/リード方式で行いますが、競技ルートは参加人数/身長などを考慮して当日発表します。追加ホールドがある場合もあります。

- ・オープン参加の方も各自でゼッケンを作成し、持参してください。
- ・オープン参加の方の競技順番は国体予選参加選手の競技の後に続きます。
- ・諸連絡事項や順番、タイムスケジュールなど更新・変更がある場合がありますので山岳連盟のwebページを随時チェックしておいてください。
- ・三密防止の観点から各個人（チーム）の待機所を当日指定します。
- ・可能な限りチーム間で3 m以上離れるように待機所エリアを考慮しますが、添えない場合もあるかもしれません。できるだけ個人でも間隔をあけることを心掛けてください。  
また、参加人数によっては監督には自家用車待機となることもあるかもしれませんので予めご了承ください。
- ・競技に支障の無い範囲で手消毒なども行ってください。